

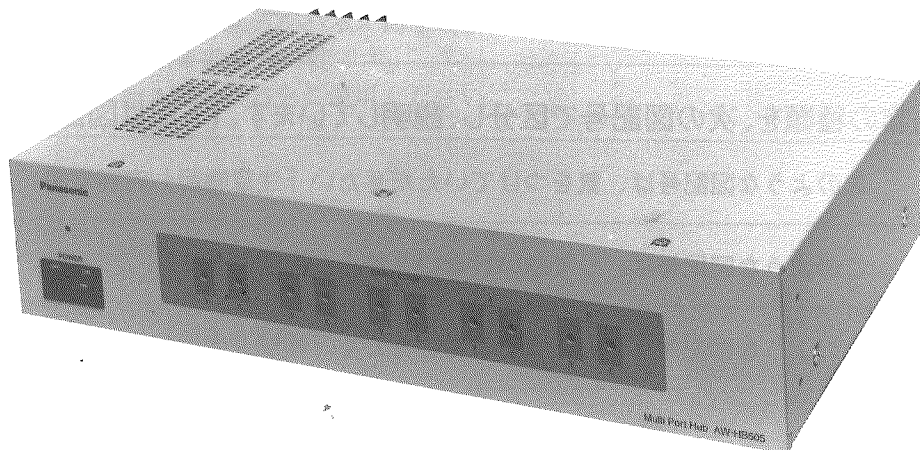
Technical Guide

このテクニカルガイドは修理技術者を対象とした技術資料です。

この資料に掲載されている表示価格は消費税抜きです。
保証書は必ず所定事項を記入の上、お客様にお渡しください。

マルチポートハブ

AW-HB505



技術サービス区分

標準価格 (1998年3月現在)
(税別) 400,000円

目次

- 修理作業安全上のご注意2
- 概要3
- 定格3
- 付属品3
- システム構成4
- 外観寸法図5
- 各部の名称と働き6~7
- 回転台の設置について8
- 接続のしかた9
- 操作の手順10~14
- ラックマウント例14
- 布線図15
- ブロック図16

- 前面基板回路図・基板図17
- メイン回路図18
- メイン基板図19
- 後面基板回路図・基板図20
- 展開図/包装要領21

★本機の外観、仕様 (定格)、回路、使用部品は性能向上、その他により予告なく変更することがあります。

松下電器産業株式会社
松下通信工業株式会社 放送システム事業部

マルチポートハブ AW-HB505

■概要

- 本機は、マルチハイブリッドコントロールパネル(AW-RP505)と組み合わせて、最大5台の回転台 (AW-PH300)及びカラービデオカメラ(AW-E560)をコントロールするマルチポートハブです。本機とマルチハイブリッドコントロールパネル間は同軸ケーブル(5C-2V)3本と10BASE-T(UTPカテゴリ-5)ストレートケーブル1本、本機とカメラ及び回転台間は、回転台1台につき同軸ケーブル(5C-2V)3本と10BASE-T(UTPカテゴリ-5)ストレートケーブル1本で、カメラ及び回転台の各種コントロール、カメラの映像信号、ゲンロック信号の送受信ができます。
- 本機とマルチハイブリッドコントロールパネル間を接続するケーブルは、最大10mまで延長可能です。本機とカメラ及び回転台間は、最大500mまで延長可能です。
- 電源は、専用ACアダプターAW-PS505をご使用ください。

■定格

電源：DC+12V (4P キャンオンコネクタ)
 消費電力：12V 2A
 映像入力：コンポジットVIDEO 1V[p-p] 75Ω×5 (BNCコネクタ)
 G/L 入力：ブラックバースト 75Ω (BNCコネクタ)
 カメラコントロール入力：コントロール信号 (BNCコネクタ)
 回転台コントロール入力：コントロール信号 (RJ-45 8P モジュラージャック)
 映像出力：コンポジットVIDEO 1V[p-p] 75Ω×5 (BNCコネクタ)
 S映像出力：Y:0.714V[p-p] 75Ω,
 C:0.286V[p-p] バーストレベル
 75Ω×5 (Sビデオコネクタ)
 プレビュー映像出力：コンポジットVIDEO 1V[p-p] 75Ω (BNCコネクタ)
 G/L 出力：75Ω×5 (BNCコネクタ)
 カメラコントロール出力：コントロール信号×5 (BNCコネクタ)
 回転台コントロール出力：コントロール信号×5 (RJ-45 8P モジュラージャック)
 スイッチ機能：電源ON/OFF
 調整機能：ケーブル補償Y/C

コントロールパネル

接続ケーブル：接続本数4本(同軸ケーブル3本、10BASE-Tストレートケーブル1本) (G/L機能使用時)

回転台

接続ケーブル：回転台1台あたり接続本数4本(同軸ケーブル3本、10BASE-Tストレートケーブル1本) (G/L機能使用時)

ケーブル最大

延長距離：コントロールパネル接続ケーブル: 10m (同軸ケーブル: 5C-2V, 10BASE-Tストレートケーブル: UTPカテゴリ-5相当使用時)
 回転台接続ケーブル: 500m (同軸ケーブル: 5C-2V, 10BASE-Tストレートケーブル: UTPカテゴリ-5相当使用時)

使用温度範囲：-10℃～+45℃

寸法：420(幅)×88(高さ)×250(奥行)mm

質量(重量)：約4kg

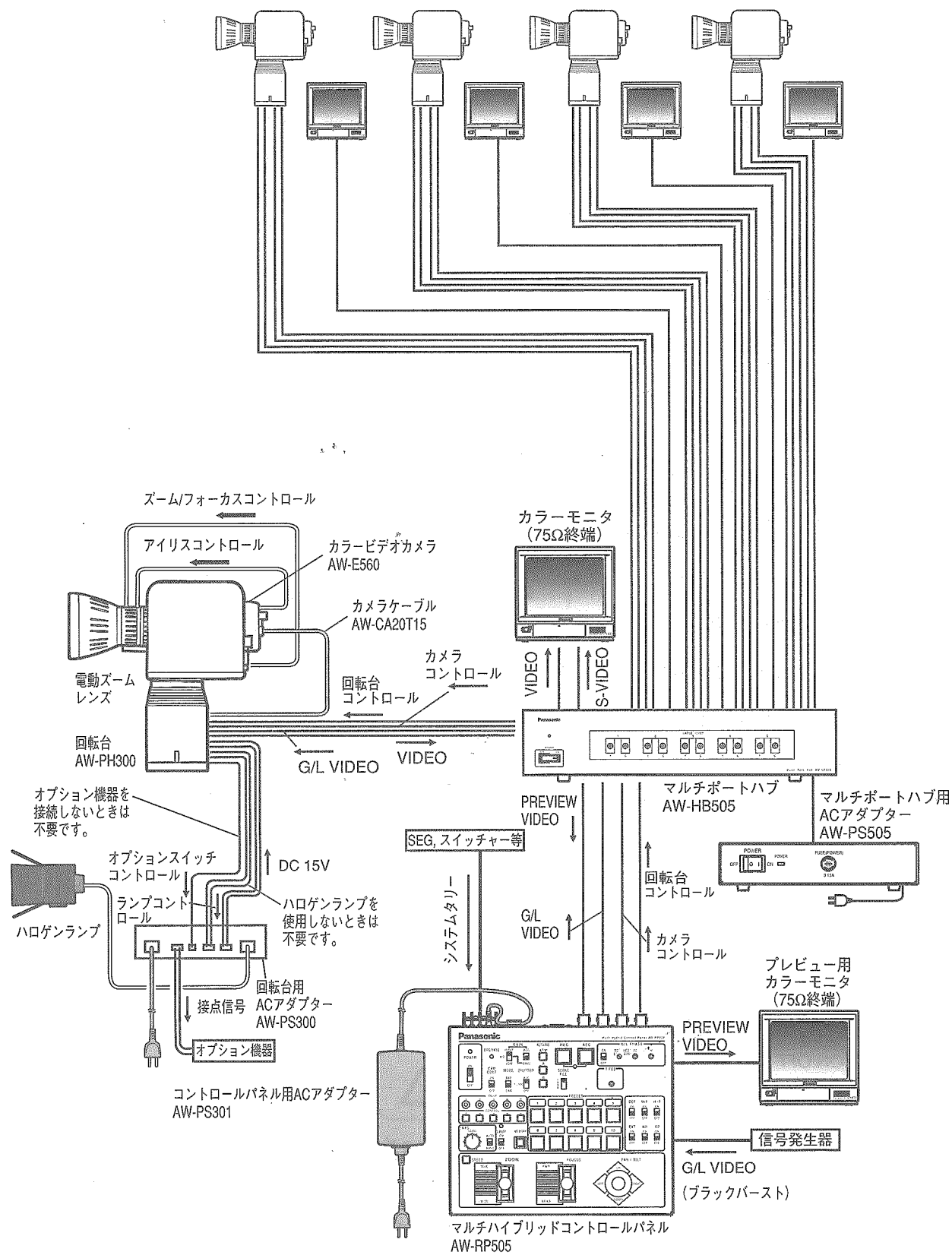
仕上げ：カバー：AVアイボリー塩ビ鋼板仕上げ(マンセル7.9Y 6.8/ 0.8近似色)
 パネル：AVアイボリー塗装(マンセル7.9Y 6.8/0.8近似色)

■付属品

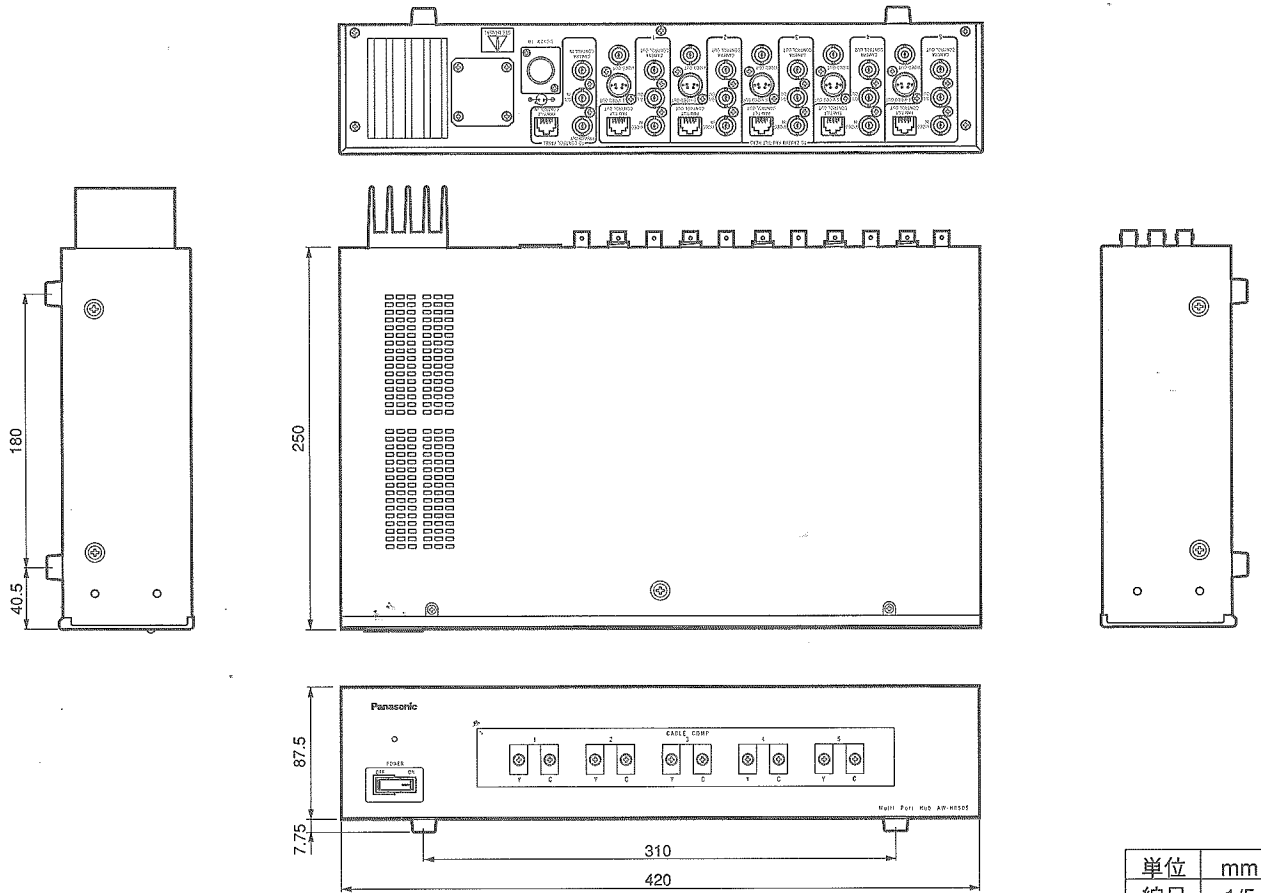
ラックマウント金具……………2個

取付ねじ……………4本

■システム構成



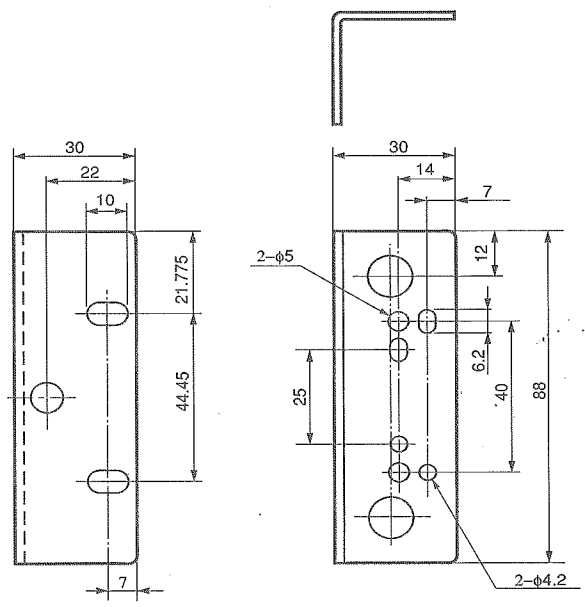
■外観寸法図



単位	mm
縮尺	1/5

(付属品)

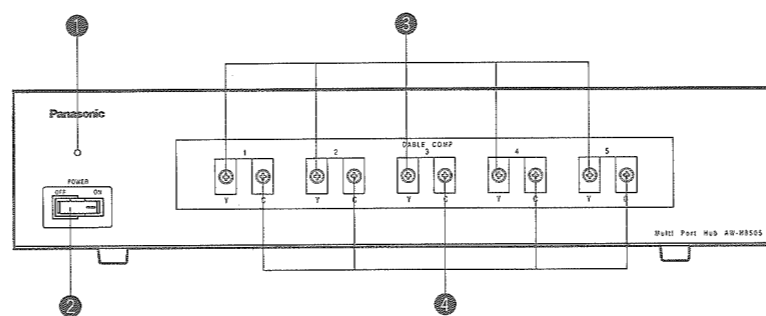
ラックマウント金具



単位	mm
縮尺	1/2

各部の名前と働き

■前面



① 電源表示LED [POWER]

電源スイッチ②が[ON]のとき、赤く点灯します。電源スイッチ②が[OFF]のときは消灯します。

② 電源スイッチ [POWER ON/OFF]

[ON]にすると、電源が入ります(電源表示LED点灯)。
[OFF]にすると電源が切れます。

ご注意

マルチハイブリッドコントロールパネルからカメラおよび回転台をコントロールするには、このスイッチを[ON]にしておく必要があります。

③ ケーブル補償輝度信号調整ボリューム [CABLE COMP Y]

映像出力信号のY(輝度)信号レベルを、回転台と本機間のケーブルの長さに合わせて調整します。マルチハイブリッドコントロールパネルのカメラ/回転台選択スイッチでカメラを選択してからカメラコントロールスイッチを[ON]にします。マルチハイブリッドコントロールパネルのモード選択スイッチを[BAR]にしてカメラからカラーバー信号を出力し、映像出力にウェーブフォームモニタ、ベクトルスコープなどの測定器を接続します。回転台と本機間のケーブルの長さが300mを越える場合は、あらかじめ回転台内部のケーブル補償スイ

ッチを[ON]にしてください(詳細は、「回転台の設置について」(11ページ)または回転台の取扱説明書をご参照ください)。始めに、選択しているカメラの番号([1]から[5])のケーブル補償輝度信号調整ボリューム③でY(輝度)信号レベルを調整し、次にケーブル補償色信号調整ボリューム④でC(色)信号レベルの調整を行います。これを繰り返すことで本機の映像出力をカメラ出力に合わせます。調整終了後はマルチハイブリッドコントロールパネルのカメラコントロールス

ご注意

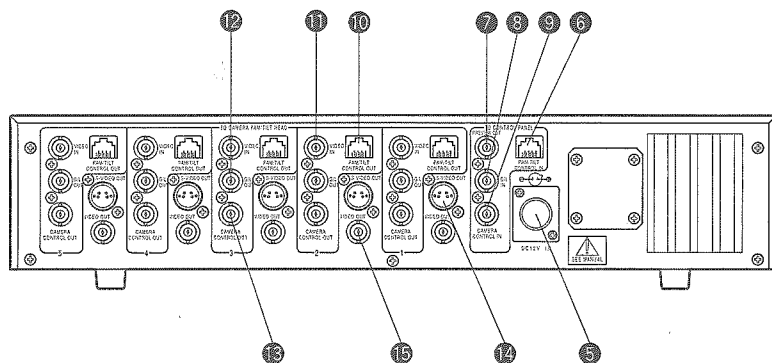
このボリュームを回すとY信号レベルだけでなく、映像レベル全体が変化します。

④ ケーブル補償色信号調整ボリューム [CABLE COMP C]

映像出力信号のC(色)信号レベルを、回転台と本機間のケーブルの長さに合わせて調整します。ハイブリッドコントロールパネルのカメラ/回転台選択スイッチでカメラを選択してからカメラコントロールスイッチを[ON]にします。マルチハイブリッドコントロールパネルのモード選択スイッチを[BAR]にしてカメラからカラーバー信号を出力し、映像出力にウェーブフォームモニタ、ベクトルスコープなどの測定器を接続します。回転台と本機間のケーブルの長さが300mを越える場合は、あらかじめ回転台内部のケーブル補償スイッチを[ON]にしてください(詳細は、「回転台の設置について」(11ページ)または回転台の取扱説明書をご参照ください)。始めに、選択しているカメラの番号([1]から[5])のケーブル補償輝度信号調整ボリューム③でY(輝度)信号レベルを調整し、次にケーブル補償色信号調整ボリューム④でC(色)信号レベルの調整を行います。これを繰り返すことで本機の映像出力をカメラ出力に合わせます。調整終了後はマルチハイブリッドコントロールパネルのカメラコントロールスイッチを[OFF]にしてください。

各部の名前と働き

■後面



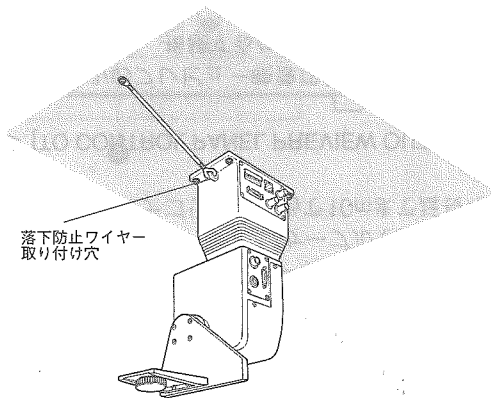
- ⑤ DC+12V入力コネクタ [DC12V IN] (4ピン キャンンコネクタ)
ACアダプター AW-PS505(別売品)を接続します。
- ⑥ 回転台コントロール信号入力コネクタ [TO CONTROL PANEL PAN/TILT CONTROL IN] (RJ-45 8ピンモジュージャック)
マルチハイブリッドコントロールパネルの回転台コントロール信号出力コネクタ [PAN/TILT CONTROL OUT]と10BASE-Tストレートケーブルで接続します。接続するケーブルは10BASE-T(UTPカテゴリー5)相当で10mまで延長可能です。
- ⑦ プレビュー映像信号出力コネクタ [TO CONTROL PANEL PREVIEW OUT] (BNCコネクタ)
マルチハイブリッドコントロールパネルのプレビュー映像信号入力コネクタ [PREVIEW IN]と同軸ケーブルで接続します。接続するケーブルは5C-2V相当で10mまで延長可能です。
- ⑧ G/L信号入力コネクタ [TO CONTROL PANEL G/L IN] (BNCコネクタ)
カメラを外部同期で使用するとき、マルチハイブリッドコントロールパネルのG/L信号出力コネクタ [G/L OUT]と同軸ケーブルで接続します。接続するケーブルは5C-2V相当で10mまで延長可能です。

- ⑨ カメラコントロール信号入力コネクタ [TO CONTROL PANEL CAMERA CONTROL IN] (BNCコネクタ)
マルチハイブリッドコントロールパネルのカメラコントロール信号出力コネクタ [CAMERA CONTROL OUT]と同軸ケーブルで接続します。接続するケーブルは5C-2V相当で10mまで延長可能です。
- ⑩ 回転台コントロール信号出力コネクタ [TO CAMERA PAN/TILT HEAD PAN/TILT CONTROL OUT] (RJ-45 8ピンモジュージャック)
カメラおよび回転台の番号([1]から[5])に対応する回転台の回転台コントロール信号入力コネクタ [P/T CONTROL IN]と10BASE-Tストレートケーブルで接続します。接続するケーブルは10BASE-T(UTPカテゴリー5)相当で500mまで延長可能です。
- ⑪ 映像信号入力コネクタ [TO CAMERA PAN/TILT HEAD VIDEO IN] (BNCコネクタ)
カメラおよび回転台の番号([1]から[5])に対応する回転台の映像信号出力コネクタ [VIDEO OUT]と同軸ケーブルで接続します。接続するケーブルは5C-2V相当で500mまで延長可能です。
- ⑫ G/L信号出力コネクタ [TO CAMERA PAN/TILT HEAD G/L OUT] (BNCコネクタ)
カメラを外部同期で使用するとき、カメラおよび回転台の番号([1]から[5])に対応する回転台のG/L信号入力コネクタ [G/L IN]と同軸ケーブルで接続します。接続するケーブルは5C-2V相当で500mまで延長可能です。
- ⑬ カメラコントロール信号出力コネクタ [TO CAMERA PAN/TILT HEAD CAMERA CONTROL OUT] (BNCコネクタ)
カメラおよび回転台の番号([1]から[5])に対応する回転台のカメラコントロール信号入力コネクタ [CAMERA CONTROL IN]と同軸ケーブルで接続します。接続するケーブルは5C-2V相当で500mまで延長可能です。
- ⑭ S映像信号出力コネクタ [S-VIDEO OUT] (4ピンS-コネクタ)
カメラおよび回転台の番号([1]から[5])に対応するカメラ映像の輝度信号(Y)と色信号(C)が出力されます。モニターやS-VHS方式のVTRなどのS映像入力に接続します。
- ⑮ 映像信号出力コネクタ [VIDEO OUT] (BNCコネクタ)
カメラおよび回転台の番号([1]から[5])に対応する回転台から本機までのケーブル長に合わせて、回転台内部のケーブル補償回路および、ケーブル補償輝度/色信号調整ボリューム③、④で調整された映像信号が出力されます。モニター、特殊効果装置(SEG)、VTRなどの映像入力に同軸ケーブルで接続します。

回転台の設置について

- 回転台の取扱説明書をよく読んでから設置してください。
- 回転台を取り付ける六角ボルト(M6)×4個を別途ご用意ください。取り付け場所の材質や構造、総重量を考慮し、最適な長さのボルトをご用意ください。ボルトは、平ワッシャー、スプリングワッシャー、六角ナットを使って確実に固定してください。締め付けが不十分だと、落下してけがや事故の原因になります。また、吊り下げ設置をする場合、回転台の落下防止ワイヤー取り付け穴にワイヤー(回転台、カメラおよびレンズに対して十分な強度のワイヤーを現地調達してください)を取り付け、天井等の丈夫な部分に確実に固定してください。

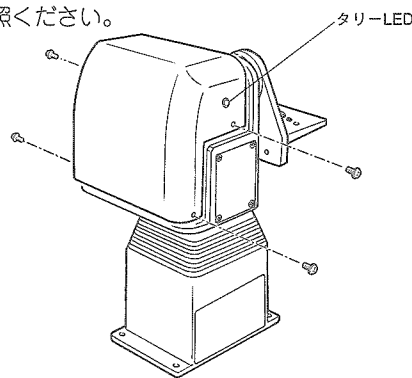
十分な強度のワイヤーを用意して、天井等の丈夫な部分に確実に固定してください。



- 出荷時、回転台の内部スイッチは天井から吊り下げる設定になっています。台等の上に据え置きする場合は、必ず、あらかじめ回転台内部の設置方向設定スイッチを切り換えてください。この切り換えが正しく行われていないと、パン/チルトの動作方向が逆転し、回転台の動作範囲の制限(リミッター)が正常にメモリーできません。切換方法等の詳細は、下図または回転台の取扱説明書をご参照ください。

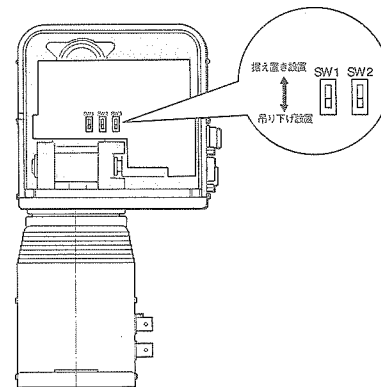
● 回転台内部の設置方向設定スイッチの切り換え方

- ① 回転台のカバーをはずします。
※ タリーLEDの配線にご注意ください。



- ② 回転台内部の設置方向設定スイッチ(SW1, SW2)を吊り下げ設置あるいは据え置き設置に合わせて切り換えます。出荷時の設定は吊り下げ設置です。

※ SW3は出荷状態から変更しないでください。変更するとコントロールパネルから操作ができなくなります。



- ③ 回転台のカバーを元に戻します。
※ 配線線材をはさまないように、ご注意ください。

- 本機からのケーブルの長さが300mを越える回転台は、あらかじめ回転台内部のケーブル補償スイッチを「ON」にしてください。300m以下の場合には「OFF」にしてください。出荷時の設定は「OFF」になっています。切換方法等の詳細は、下図または回転台の取扱説明書をご参照ください。

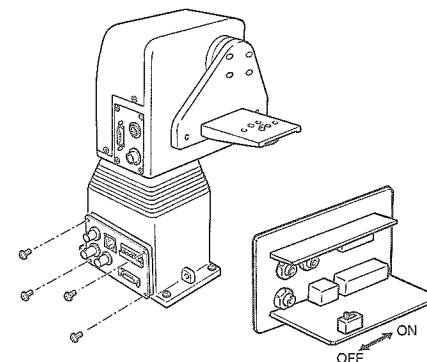
● 回転台内部のケーブル補償スイッチの切り換え方

本機から回転台までのケーブルの長さが300mを越える場合は、以下の手順でケーブル補償スイッチを「ON」にしてください。

- ① 回転台のコントローラー接続パネルをはずします。
※ 配線線材にご注意ください。

- ② 回転台のコントローラー接続パネル内側のケーブル補償スイッチをONにします。

- ③ 回転台のコントローラー接続パネルを元にもどします。



接続のしかた

- 接続はすべての機器の電源を切った状態で行ってください。
- コントロールパネル用ACアダプターは AW-PS301(別売品)を、マルチポートハブ用ACアダプターはAW-PS505(別売品)を、回転台用ACアダプターは AW-PS300(別売品)をご使用ください。

- 回転台はAW-PH300を、カメラはAW-E560をご使用ください。WV-E550はご使用になれません。回転台とカメラの接続には、カメラケーブル AW-CA20T15(別売品)が必要です。

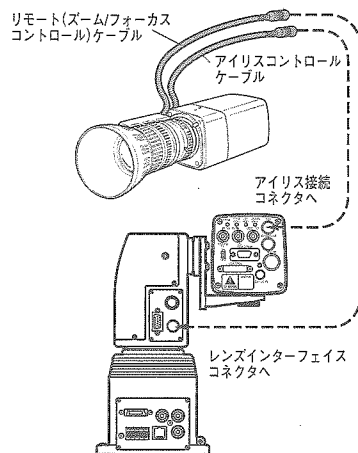
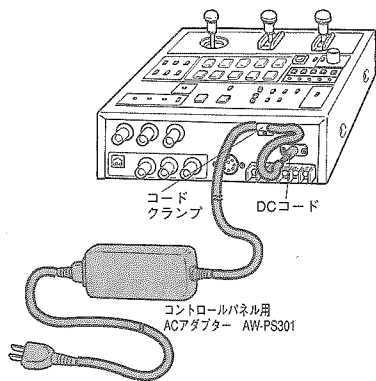
- 回転台(AW-PH300)と回転台用ACアダプター(AW-PS300)をDC電源コード(公称断面積1.25mm²以上の電気用品取締法に適合したケーブルを現地調達してください)で接続します。回転台と回転台用ACアダプターの最大延長距離は30mです。

- 本機にマルチポートハブ用ACアダプター(AW-PS505)を接続します。

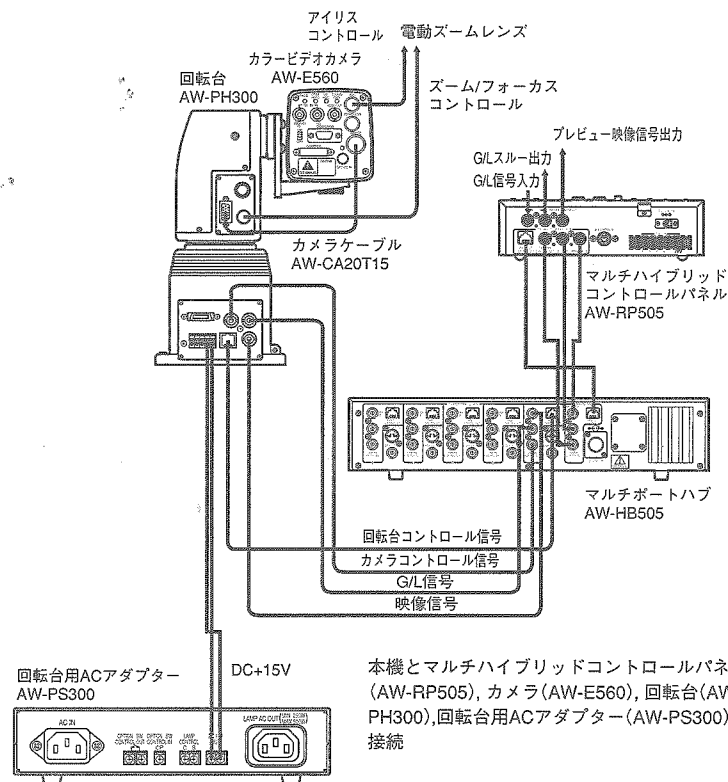
- マルチハイブリッドコントロールパネル(AW-RP505)にACアダプター(AW-PS301)を接続し、DCプラグの抜け防止のため、ACアダプターのDCコードをコードクランプに留めます。

- 回転台(AW-PH300)とカメラ(AW-E560)を、カメラケーブルAW-CA20T15で接続します。

- 電動ズームレンズのアイリスコントロールケーブルをカメラに、リモート(ズーム/フォーカスコントロール)ケーブルを回転台に接続します。電動ズームレンズのリモート(ズーム/フォーカスコントロール)ケーブルをカメラに接続すると、レンズのコントロールができません。



- 本機とマルチハイブリッドコントロールパネル間を同軸ケーブル3本(映像信号, G/L信号, カメラコントロール信号)と10BASE-Tストレートケーブル 1本(回転台コントロール信号)で接続します。最大延長距離は、同軸ケーブル: 5C-2V, 10BASE-Tストレートケーブル: UTPカテゴリー5相当使用時に10mです。
- 本機と回転台間を、回転台1台につき同軸ケーブル 3本(映像信号, G/L信号, カメラコントロール信号)と10BASE-Tストレートケーブル 1本(回転台コントロール信号)で接続します。最大延長距離は、回転台ごとに、同軸ケーブル: 5C-2V, 10BASE-Tストレートケーブル: UTPカテゴリー5相当使用時に500mです。
- 各機器の詳しい接続のしかたは、それぞれの取扱説明書をご参照ください。



操作の手順

1. 電源を入れます。

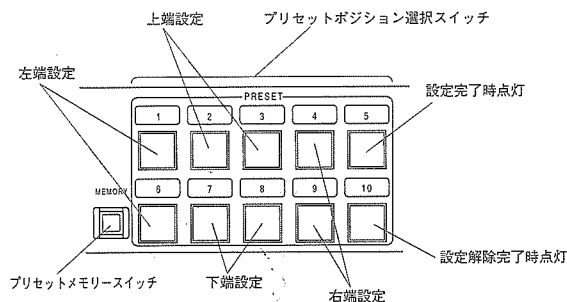
それぞれの回転台用ACアダプターとマルチポートハブ用ACアダプターの電源スイッチを「ON」にし、本機の電源スイッチを「ON」にしてから、マルチコントロールパネルの電源コントロールスイッチを「ON」にします。

2. それぞれの回転台の動作範囲の制限(リミッター)を設定します。

回転台周辺に障害物等がある場合、回転台の動作範囲の制限(リミッター: 回転の左端, 右端, 上端, 下端)を設定します。

ご注意

出荷時、回転台の内部スイッチは天井から吊り下げる設定になっています。台等の上に据え置きする場合は、必ず、あらかじめ回転台内部の設置方向設定スイッチの切り換えを行ってください。この切り換えが正しく行われていないと、パン/チルトの動作方向が逆転し、回転台の動作範囲の制限(リミッター)が正常にメモリーできません。切替方法等の詳細は、「回転台の設置について」(11ページ)または回転台の取扱説明書をご参照ください。



- ① マルチハイブリッドコントロールパネルのカメラ/回転台選択スイッチで回転台を選択します。
- ② 左端を設定するときは、マルチハイブリッドコントロールパネルのパン/チルト操作レバーで回転台を設定したい左端まで回転させ、プリセットメモリースイッチを押しながら、プリセットポジション選択スイッチの[1]ボタンと[6]ボタンを同時に5秒以上押します。設定が行われるとプリセットポジション選択スイッチの[5]ボタンが点灯します。

- ③ 右端を設定するときは、マルチハイブリッドコントロールパネルのパン/チルト操作レバーで回転台を、設定したい右端まで回転させ、プリセットメモリースイッチを押しながら、プリセットポジション選択スイッチの[4]ボタンと[9]ボタンを同時に5秒以上押します。設定が行われるとプリセットポジション選択スイッチの[5]ボタンが点灯します。

設定を解除するには、再びプリセットメモリースイッチを押しながら、プリセットポジション選択スイッチの[4]ボタンと[9]ボタンを同時に5秒以上押します。設定が解除されるとプリセットポジション選択スイッチの[10]ボタンが点灯します。

- ④ 上端を設定するときは、マルチハイブリッドコントロールパネルのパン/チルト操作レバーで回転台を、設定したい上端まで回転させ、プリセットメモリースイッチを押しながら、プリセットポジション選択スイッチの[2]ボタンと[3]ボタンを同時に5秒以上押します。設定が行われるとプリセットポジション選択スイッチの[5]ボタンが点灯します。

設定を解除するには、再びプリセットメモリースイッチを押しながら、プリセットポジション選択スイッチの[2]ボタンと[3]ボタンを同時に5秒以上押します。設定が解除されるとプリセットポジション選択スイッチの[10]ボタンが点灯します。

- ⑤ 下端を設定するときは、マルチハイブリッドコントロールパネルのパン/チルト操作レバーで回転台を、設定したい下端まで回転させ、プリセットメモリースイッチを押しながら、プリセットポジション選択スイッチの[7]ボタンと[8]ボタンを同時に5秒以上押します。設定が行われるとプリセットポジション選択スイッチの[5]ボタンが点灯します。

設定を解除するには、再びプリセットメモリースイッチを押しながら、プリセットポジション選択スイッチの[7]ボタンと[8]ボタンを同時に5秒以上押します。設定が解除されるとプリセットポジション選択スイッチの[10]ボタンが点灯します。

- ⑥ マルチハイブリッドコントロールパネルのカメラ/回転台選択スイッチで回転台を切り換えて、それぞれの回転台の動作範囲の制限(リミッター)を設定します。

3. それぞれのカメラのケーブル補償, G/L(ゲンロック)調整, トータルペダスタル調整および各種スイッチ設定をします。

- 1) マルチハイブリッドコントロールパネルのカメラ/回転台選択スイッチでカメラを選択してから、カメラコントロールスイッチを「ON」にします。

操作の手順

ご注意

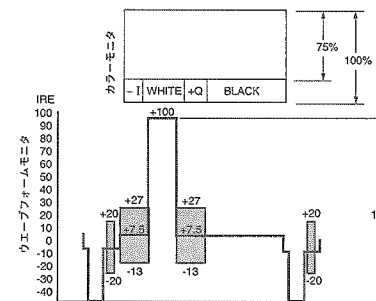
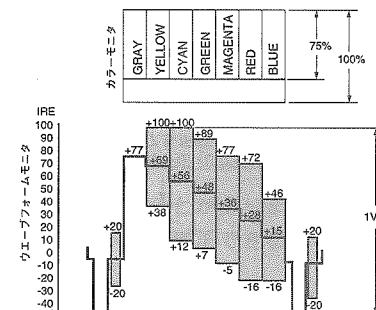
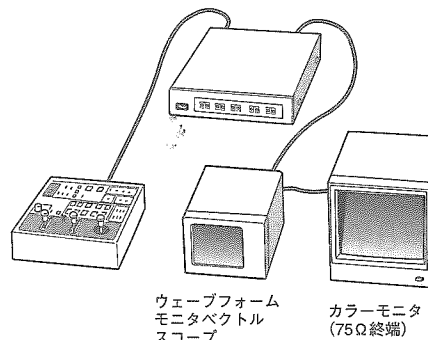
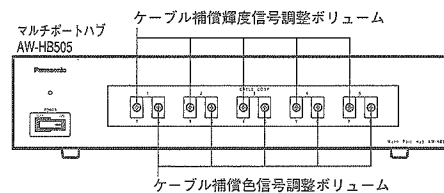
マルチハイブリッドコントロールパネルのカメラコントロールスイッチを[ON]にすると同時に、マルチハイブリッドコントロールパネルの各スイッチの設定がカメラに送られ、カメラの設定が更新されます。カメラの設定を変更するとき以外は、カメラコントロールスイッチを[ON]にしないでください。また、カメラコントロールスイッチを[ON]にしたまま、カメラ/回転台選択スイッチでカメラを切り換えると、切り換え後のカメラの設定も同様に更新されます。カメラ/回転台選択スイッチでカメラ選択を切り換える前にカメラコントロールスイッチを[OFF]にしてください。

2) 選択しているカメラのケーブル補償、G/L調整およびトータルペダスタル調整をします。

●ケーブル補償のしかた

本機と回転台間のケーブル長による信号劣化を補正することができます。

- ① 本機から回転台までのケーブルの長さが300mを越えるときは、回転台内部のケーブル補償スイッチを「ON」にします。詳細は、「回転台の設置について」(11ページ)または回転台の取扱説明書をご参照ください。
- ② 本機の、カメラおよび回転台の番号([1]から[5])に対応する映像信号出力コネクタにウェーブフォームモニター、ベクトルスコープを接続し、マルチハイブリッドコントロールパネルのモード選択スイッチを[BAR]にして、カメラのカラーバー信号を観測します。
- ③ 本機の、カメラおよび回転台の番号([1]から[5])に対応するケーブル補償輝度信号調整ボリュームでY(輝度)信号レベルを調整し、次にケーブル補償色信号調整ボリュームでC(色)信号レベルの調整を行います。これを繰り返すことで本機の映像出力を下図のように合わせます。



ご注意

ケーブル補償輝度信号調整ボリュームを回すとY(輝度)信号レベルだけでなく、映像信号レベル全体が変化します。

●G/L(ゲンロック)位相調整のしかた

カメラを外部同期で使用する場合、他の機器やカメラとの位相を合わせるため、位相調整を行う必要があります。G/Lをかけない時はG/L調整は必要ありません。

・水平位相調整

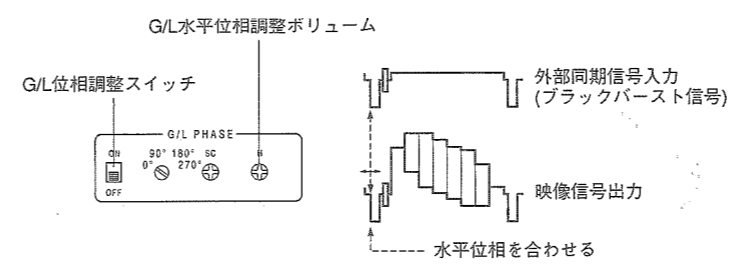
- ① マルチハイブリッドコントロールパネルのG/L位相調整スイッチを[ON]にします。

操作の手順

ご注意

マルチハイブリッドコントロールパネルのG/L位相調整スイッチを[ON]にすると同時に、カメラの同期位相は、G/L水平位相調整ボリューム、G/Lサブキャリア位相粗調整スイッチ、G/Lサブキャリア位相微調整ボリュームの状態に変化します。G/L位相調整を行うとき以外は、G/L位相調整スイッチを[ON]にしないでください。

- ② G/L信号入力(ブラックバースト信号または映像信号(VBS))と映像信号出力の波形を2現象オシロスコープで観測し、下図のように水平位相が合うようにマルチハイブリッドコントロールパネルのG/L水平位相調整ボリュームで調整します。

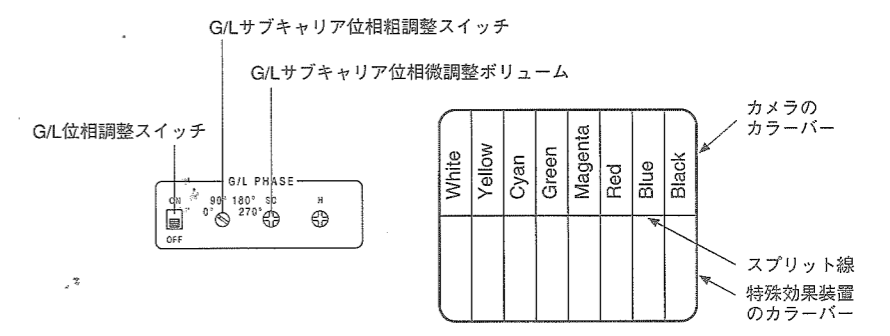


- ③ マルチハイブリッドコントロールパネルのG/L位相調整スイッチを[OFF]にします。
 - サブキャリア位相調整
- ① マルチハイブリッドコントロールパネルのG/L位相調整スイッチを[ON]にします。

ご注意

マルチハイブリッドコントロールパネルのG/L位相調整スイッチを[ON]にすると同時に、カメラの同期位相は、G/L水平位相調整ボリューム、G/Lサブキャリア位相粗調整スイッチ、G/Lサブキャリア位相微調整ボリュームの状態に変化します。G/L位相調整を行うとき以外は、G/L位相調整スイッチを[ON]にしないでください。

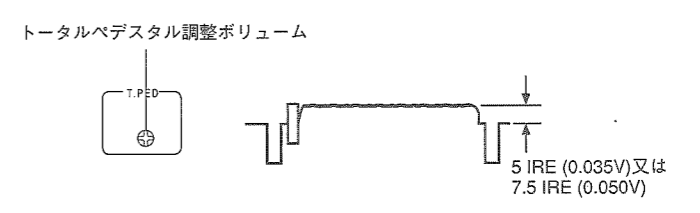
- ② カラー特殊効果装置のプログラム出力(スプリットされたカラーバー出力)など、基準とする色調に映像信号出力のサブキャリア(色)位相が合うように、マルチハイブリッドコントロールパネルのG/Lサブキャリア位相粗調整スイッチ、G/Lサブキャリア位相微調整ボリュームを調整します。ベクトルスコープで色位相調整をしますと、より精度の高い調整ができます。



- ③ マルチハイブリッドコントロールパネルのG/L位相調整スイッチを[OFF]にします。

● トータルペダスタル調整のしかた

複数のカメラのペダスタルを合わせるときに調整します。オシロスコープまたはウェーブフォームモニタを使用して、マルチハイブリッドコントロールパネルのトータルペダスタル調整ボリュームでペダスタルレベルが、5 IRE (0.035V)又は7.5 IRE (0.050V)になるように調整します。



操作の手順

- 3) 撮影状態に合わせてゲイン、シャッター等の各種スイッチを設定します。
- 4) マルチハイブリッドコントロールパネルのカメラコントロールスイッチを [OFF] にします。
- 5) 1) から 4) を繰り返して、すべてのカメラのケーブル補償、G/L調整、トータルペダスタル調整および各種スイッチ設定をします。

4. それぞれのカメラのホワイトバランス調整、ブラックバランス調整をします。

- 1) マルチハイブリッドコントロールパネルのカメラ/回転台選択スイッチでカメラを選択します。
- 2) 選択しているカメラのホワイトバランス調整、ブラックバランス調整をします。

●ホワイトバランス調整のしかた

初めて使うとき、長時間使わなかったときや照明条件、明るさが変わったときに必要です。

一度調整し同条件で使うときは、調整の必要はありません。

●自動調整(AWC)

「Ach」「Bch」2ヶ所の色温度条件をあらかじめメモリーしておくことができます。設定内容と同一条件で使用する場合は一度調整しておく、マルチハイブリッドコントロールパネルのホワイトバランスAch選択スイッチ又はホワイトバランスBch選択スイッチのいずれかを選択するだけで完了です。改めて調整する必要はありません。新たに調整すると以前の内容は消去され、新しくメモリーされたデータになります。

- ① のホワイトバランスAch選択スイッチまたはホワイトバランスBch選択スイッチを押します。
- ② 白い被写体(白壁や白いハンカチなど)を画面一杯に映します。画面に光ったものや高輝度の被写体が入らないようにしてください。
- ③ マルチハイブリッドコントロールパネルのオートホワイトスタートスイッチを押すと、オートセットLEDが点滅し、ホワイトバランスを自動調整します。調整が正常に終了すると消灯します。NGの場合は点灯し続けます。NGの場合は、明るさ、絞り、被写体、光源等を変え再度調整し直してください。

●自動色温度追尾(ATW)

マルチハイブリッドコントロールパネルのホワイトバランスATW選択スイッチを押すと、光源や色温度が変わってもホワイトバランスを合わせるように自動補正し、違和感の少ない画像にします。

ご注意

画面上に白がない場合、ホワイトバランスがズレることがあります。また光源や色温度によっては、完全にホワイトバランスが補正できないことがあります。

●ブラックバランス調整のしかた

初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要です。

周囲温度が大幅に変わったとき、季節の変わり目などに必要です。

一度調整し同条件で使うときは、調整の必要はありません。

●自動調整(ABC)

マルチハイブリッドコントロールパネルのオートブラックスタートスイッチを押すと、レンズ絞りが自動的に閉じ、ブラックバランスをセットします。ブラックバランスをセットするときは、マルチハイブリッドコントロールパネルのレンズ絞りオート/マニュアル選択スイッチは[AUTO]でご使用ください。ブラックバランス調整中はオートセットLEDが点滅し、調整が正常に終了すると消灯します。NGの場合は点灯し続けます。NGの場合は、再度調整し直してください。

トータルペダスタルが低すぎる時はNGになることがあります。マルチハイブリッドコントロールパネルのトータルペダスタル調整ボリュームでトータルペダスタルを合わせ、再度ブラックバランス調整をおこなってください。

- 3) 1), 2) をを繰り返して、すべてのカメラのホワイトバランス調整、ブラックバランス調整をします。

5. それぞれのカメラおよび回転台のプリセット設定をメモリーします。

- 1) マルチハイブリッドコントロールパネルのカメラ/回転台選択スイッチでカメラおよび回転台を選択します。

操作の手順

2) マルチハイブリッドコントロールパネルのパン/チルト操作レバー、ズーム操作レバーおよびフォーカス調整レバーで撮影したい映像を映し出します。ホワイトバランスATW選択スイッチ、ホワイトバランスAch選択スイッチおよびホワイトバランスBch選択スイッチでホワイトバランスを選択します。

レンズの絞りをメモリーする場合は、レンズ絞りオート/マニュアル選択スイッチを[MANU]にし、レンズ絞り調整ボリュームを調整します。レンズ絞りオート/マニュアル選択スイッチが[AUTO]の場合は、レンズの絞りはメモリーされません。

3) マルチハイブリッドコントロールパネルのプリセットメモリースイッチを押しながら(プリセットメモリースイッチは点灯し、プリセットポジション選択スイッチは10ポジションすべてが点滅します)、プリセットポジション選択スイッチのプリセットしたい番号([1]から[10])のスイッチを押してメモリーします。メモリーされると、プリセットポジション選択スイッチのメモリーした位置のスイッチのみが点灯します。

ご注意

マルチハイブリッドコントロールパネルのプリセットポジション選択スイッチの同じ番号のボタンに新たにメモリーすると、以前の内容は消去されます。

4) 1)から3)を繰り返して、すべてのカメラおよび回転台のプリセット設定をメモリーします。

6. マルチハイブリッドコントロールパネルのカメラ/回転台選択スイッチで操作したいカメラおよび回転台を選択し、プリセットポジション選択スイッチ、パン/チルト操作レバー、ズーム操作レバー、フォーカス調整レバー、レンズ絞りオート/マニュアル選択スイッチ、レンズ絞り調整ボリュームおよび各種スイッチで、カメラおよび回転台をコントロールします。

* 調整・設定内容を変更しない場合は、2 から 5 の調整・設定はあらかじめ行う必要はありません。

ラックマウント例

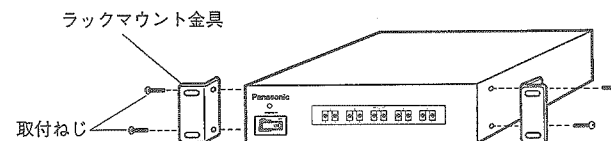
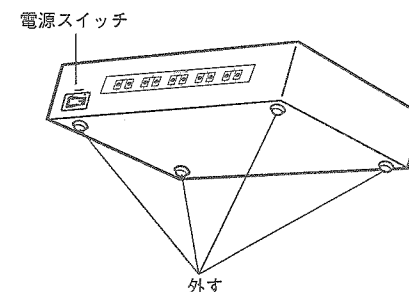
■ラックマウントのしかた

本機をラックへ取り付けるときは、付属のラックマウント金具と取付ねじ(M4×10)をお使いください。

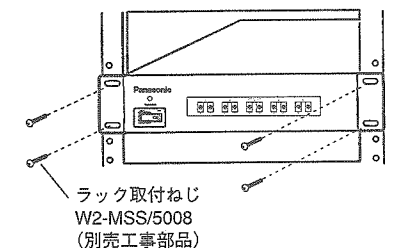
① 電源スイッチを押して電源を切ります。

② 足4個を取り外してください。

③ 本機の両端にラックマウント金具をあて、付属の取付ねじ(4本)で固定します。



④ 本機をラックに取り付けて、ラック取付ねじ(工事部品：品番W2-MSS/5008)4本で固定します。



ご注意

- ラック取付ねじは別売です。(別売工事部品：品番W2-MSS/5008)
- ラック内の温度が+50°C以上にならないように、他の機器と充分間を空けて(本機1台分以上)取り付けるか、ラックに冷却ファンを取り付けてください。